

2017年度入学試験（推薦入試A日程・11月5日）【50分】  
**作文試験問題**

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

児童虐待は今や大きな社会問題となっています。児童相談所への相談件数も増加の一途をたっています。この現状に関し、「学校や保育所も積極的に家庭に関わり、虐待の芽を早く見いだし、子どもを保護するべきだ。」という考え方で、「家庭には家庭のしつけや教育方針があるのだから、あまりプライベートに積極的に踏み込んでいくのは良くない。」という考え方があります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。

発想材料を参考に、あなた自身の知識や経験などを材料に用いて、立場を明らかにして意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行25字のマス目に16行以上、28行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（75字）以内で書く。

発想材料

- ・ 子どもは自分の身を自分で守れないのだから、学校の先生など守ってあげられる大人が積極的に関わる方が良い。
- ・ 保護者には保護者の考えや都合があり、それに意見を言うのは先生といえども控えなくてはならない。
- ・ 虐待から解放されて安心する子どもも多い。したがって、早めに助け出すのは良いことである。
- ・ 虐待をされていると言っても子どもはやはり自分の親の方が良い、というケースもあるので慎重に対応しなければならない。
- ・ 先生だけでなく、自治体や地域が足並みをそろえて、その地域の子どもを守るという考え方でなければ虐待はなくなるならない。
- ・ 積極的に踏み込むことによって、かえって虐待を悪化させることにもなりかねない。

2017年度入学試験（推薦入試B日程・12月4日）【50分】  
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

最近、小学生の安全・安心のために携帯電話を持たせる家庭が増えています。その傾向について、「携帯電話で常に連絡を取って、子どもの不安を取り除くことが望ましい。」という考え方と、「携帯電話を通して何でも保護者に確認を取らせることは、子どもの自立を妨げる。」という考え方があります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。

発想材料を参考に、あなた自身の知識や経験などを材料に用いて、立場を明らかにして意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行25字のマス目に16行以上、28行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（75字）以内で書く。

発想材料

- ・ 子どもが不安を感じたときには、保護者がすぐにその相談にのることが望ましい。
- ・ 小学生が携帯電話を持つことは、未熟な子ども人間関係形成に悪影響を与える。
- ・ 子ども用のキッズ携帯には、子どもの安全を守るためにさまざまな機能がある。
- ・ 子どもが些細な事でも困るとすぐに保護者に訊いてしまうため、自立心が育たない。
- ・ 子どもの位置や様子についての情報が全てわかるので、保護者は安心してられる。
- ・ 子どもに起こった日常とは違う些細な出来事に対し、保護者が一喜一憂してしまう。